

東光原 NewsLetter

No.38
2021.2

Kumamoto
University
Lib



第13回

熊本大学東光原文学賞
受賞作決定

大賞

『I C i』

PN いうかわれきし

優秀賞

『透明な不幸』

PN 冬野ヨル

『流れ星の里』






PN 河原谷まち

『ブリキに花束を』

PN 松本 愛海

20 x 20

目次

-  [第13回 熊本大学東光原文学賞 受賞作決定](#) 1
-  [第13回 熊本大学東光原文学賞 受賞者インタビュー](#) 2-3
-  [第13回 熊本大学東光原文学賞 表彰式](#) 4
-  [図書館オンライン講習会2020年度（学内者限定）](#) 4
-  [図書館のできごと](#) 4




図書館公認
キャラクター
くまぽん


大賞 『 I c i 』

PN いかわれきし


——受賞作に込めた思いをお願いいたします。

 い：たとえ自明である物事でも何度も問い直すことが重要だと思います。その結果答えは変わらなくとも、心の持ちようは変わってゆくはずです。ただ、そうした思索は若い精神をとて極端な方向に歩ませることもあるかもしれません。その人の服の裾をそっと握れるような小説になっていれば嬉しいです。


——小説を書いている過程で楽しかったこと、工夫したこと、苦労したことなどを教えてください。

 い：自分の大切な想いをどうやったら傷つけたり汚したりせずに他者に届けられるか思い悩むのは、あまりにも無謀なことなので苦しくもなりますが、やりがいのあることです。またそのためにはたくさんの嘘を積み重ねることになりますが、それは世界の表面をどれだけでも自分好みに飾り付けられるということなので、とても楽しいです。

——これから東光原文学賞に応募しようかなと思っている人へアドバイスをお願いします。

 い：今後の自分の人生において意味のある作品を書くことが肝要かと思います。そのためには、いま自分が本当に考えていること、感じていることを、自分の心から自然に湧き上がってきた言葉で表現することが大切です。それが僕にできているかは分かりませんが笑


——その他、伝えたい事などありましたらお願いします。

 い：僕は現在、セピアという熊大の文芸サークルで活動しています。もちろん作品を作るとき僕たちは一人ですが、相談し合う相手というのはどれだけいても困らないものです。創作する仲間が欲しいという方がいらっしゃれば、ぜひTwitterを覗いてみてください。


優秀賞 『 流星の里 』

PN 河原谷まち


——受賞作へ込めた思いをお願いします。

 河：まるで自分が物語の中の世界にいるようだと感じる作品にしたいと思いました。


——小説を書いている過程で楽しかったこと、工夫したこと、苦労したことなどを教えてください。

 河：物語の中で矛盾が生まれないように気をつけました。小説の執筆は思っていたよりも大変でしたが、書きながら自分の頭の中にあった世界を文字として表していくことは、とても新鮮で楽しかったです。


——これから東光原文学賞に応募しようかなと思っている人へアドバイスをお願いします。

 河：私は今まで、小説を書くことは自分の考えを外に出す作業だと思っていました。しかし実際書いてみると、自分が知らないことを調べて書く場面があることに気が付きました。小説を書くことで新たな知識が増えていくのも、小説を書くことの魅力だと思います。


— 受賞作へ込めた思いをお願いします。

 冬：この作品は、言葉にできない不安や胸の中の鬱屈とした気持ちを振り払おうと、必死にもがく主人公の物語です。生きていく中で直面する感情には、必ずしも名前を付けられるわけではないと思います。そんな形のない、透明な不幸を抱えている人の心に、少しでも光が差せばいいな、と思って筆を執りました。この作品を読んでもくれた人の心が少しだけ鮮やかに、そして軽やかになってくれたら幸いです。


— 小説を書いている過程で楽しかったこと、工夫したこと、苦労したことなどを教えてください。

 冬：昔からストーリーを考案することは大好きだったので、プロットを練っている間は本当に楽しかったです。また、文章を書くことも大好きだったので、実際に書き始めてからもわくわくしていました。結局全部楽しかったです(笑)。工夫したことはちょっとした些細な日常描写を丁寧に描くということです。少しでも作品の世界を皆さんの頭の中に写せたらいいと思っています。


— これから東光原文学賞に応募しようかなと思っている人へアドバイスをお願いします。

 冬：プロットの作成はしっかりすることをお勧めします。一本筋の通った作品にするには芯を確立するのが最も近道だと思うので。あとは楽しんで書きたいものを好きに書けばいいと思います。評価なんてものは後から勝手についてくるもので、自分でどうこうできるものじゃないです。だったら書きたいもの書いた方が楽しいに決まっています！


— その他、伝えたい事などありましたらお願いします。

 冬：書きたいものはいくらでもあるので、また来年お会いできるように形にしていきたいと思っています。ありがとうございました。


— 受賞作へ込めた思いをお願いします。

 松：認知症の人や、他者と比べて悩んでる人を少しでも肯定できればという思いで書きました。

— 小説を書いている過程で楽しかったこと、工夫したこと、苦労したことなどを教えてください。

 松：自分の中で造り出した映像を、言語化して形作るのに苦労しました。

— これから東光原文学賞に応募しようかなと思っている人へアドバイスをお願いします。

 松：迷っているなら、とりあえず書いてみるのが大事だと思います。書いていく中では、悩んだり、自己と向き合ったり、新しい発見があったり。きっと素敵な経験になりますよ！

第13回 熊本大学東光原文学賞 表彰式

「熊本大学 東光原文学賞」は、熊大生の言語力向上と創造性豊かな学生の育成、さらに地域社会における文学・文化活動の中核となる人材輩出等を目的に2008年度に創設され、今年度で13回目を迎えました。熊本大学の前身、旧制五高では夏目漱石や小泉八雲が教鞭をとっており、五高卒業生には、寺田寅彦氏、犬養孝氏、下村湖人氏、木下順二氏、中野孝次氏らが名を連ね、数多くの文化人を輩出しています。そんな先人に続けという思いもこめられた文学賞です。本年度は、15篇の応募があり、審査の結果、大賞1篇、優秀賞3篇を選出しました。1/15(金)に中央館ラーニングcommonsにて執り行われた表彰式では、大賞・優秀賞発表に続いて、受賞者から受賞コメントを、選考委員の方々から講評をいただき、晴れやかな式となりました。受賞者のみなさん、本当におめでとうございます。惜しくも受賞を逃したみなさん、ご応募ありがとうございました。次回作も期待しています。受賞作品は「熊本大学東光原文学賞作品集」として3月に刊行予定です。図書館内にて無料配布しますので、ぜひ手に取ってご覧ください。また図書館ホームページでも公開(PDF)していますので、過去の作品集もいつでも読むことができます。次はあなたも受賞者？お待ちしております。

現在、中央館のロビーでは「小説“超”入門」と称して、小説を書くにあたっての入門書を展示中で全て貸出可能です。これから小説を書こうと思う人、自分の小説にさらなるパワーアップを考えている人、どうぞご利用ください。



受賞者のみなさん。選考委員の方々

20 / 20

図書館のできごと(2020.10~2021.1)

- 10.6 図書館オンライン講習会(日本語論文コース)公開
- 10.13 第2回学生選書員募集開始(選書期間 10.30-11.30)
- 10.22 図書館TAによる本の紹介サービス(本のソムリエ)後期開始
- 10.30 図書館TAによるプレゼンテーション講座(オンライン)公開
- 11.4 オンライン貴重資料展「甦った絵図と古文書」特設サイト公開
- 11.4- ロビー展示ミニ企画展「今年はオンライン貴重資料展 & これまでの貴重資料展」
- 11.10 防災・消防訓練
- 12.1 熊大Discovery職員向け講習会開催
- 12.8 図書館オンライン講習会(就活のための電子ブック・新聞記事データベース活用ガイド)公開
- 12.22- ロビー展示「阿蘇:被災と復興」
- 1.12- ロビー展示「小説“超”入門」
- 1.15 第13回「熊本大学東光原文学賞」表彰式
- 1.18- 通常貸出図書返却カウンターの取扱変更(試行)開始

図書館オンライン講習会2020年度 (学内者限定)

下記の3つのコースを開始、いつでもどこでも利用可です。図書館ホームページまたは以下のURLからアクセスしてご利用ください。
<https://md.kumamoto-u.ac.jp/course/view.php?id=84525>



図書館TAによる
プレゼンテーション
講座

就活のための
電子ブック・新聞記事
データベース
活用ガイド

日本語論文コース
検索力アップ!
効果的な文献の探し方